

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月25日更新

事務事業名		狂犬病予防事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	市民生活部	課長名	岡田 光弘
	施策	18	住環境の充実			所属課	環境衛生課	担当者名	小野 幸介
	施策の柱	56	環境衛生の充実			所属班	環境衛生班	(内線)	1143
予算科目		会計一般	款4	項1	目7	事業連番10118	根拠法令	狂犬病予防法 合志市犬による危害防止条例	
終了、開始年度		☐ 31年度で終了 ☐ 31年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	昭和25年に「狂犬病予防法」が施行され、飼い犬への予防注射が飼い主の義務とされたことから開始した。狂犬病予防のため、年1回の狂犬病予防注射の案内通知の発送と一生に1回の飼い犬登録・変更申請受付、鑑札交付、狂犬病予防注射済票交付事務、野犬捕獲、迷い犬の受付・保護等を行っている。
【業務の流れ】	予防注射通知の発送、集合注射時の受付、注射済票交付、新規登録・変更申請受付、台帳作成（電算システム入力・出力）、捕獲檻設置・撤去、野犬捕獲、迷い犬の受付・保護
【主な予算費目】	職員手当等、需用費、役務費
【意見や要望】	市民から野犬捕獲、迷い犬保護等の通報や糞、放し飼い等の苦情がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO) 狂犬病予防法に基づき野犬捕獲、迷い犬の保護、予防注射を行った。(予防注射実績: 2,399頭 新規登録数: 384頭)		2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 狂犬病予防注射通知事務、集合注射時の受付事務、注射済票交付事務を行う野犬捕獲、捕獲檻設置・撤去、迷い犬の受付・保護
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 頭	予算の主な増減の理由
→ ア 予防注射済票交付数	頭	犬鑑札等在庫があるため需用費(消耗品費)の減
→ イ 集団予防注射の実施時間数	時間	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
犬		→ ア 登録数 頭
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
狂犬病発生の予防		→ ア 狂犬病予防注射頭数/登録数 %
		→ イ
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
犬の登録及び狂犬病予防注射は狂犬病予防法に基づいて行われており、狂犬病の発生及び蔓延を防止することが重要であり、成果指標を「狂犬病予防注射頭数/登録数」の割合とし、「75%」を目標値に設定した。		0

(2)各指標・総事業費 の推移											
		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込	
① 活動指標	ア	頭	2,346	2,263	3,000	2,399	3,000	3,000	3,000	3,000	
	イ	時間	40	40	40	40	40	40	40	40	
② 対象指標	ア	頭	3,118	3,029	3,150	3,130	3,150	3,150	3,150	3,150	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	75	75	75	77	75	75	75	75	
	イ										
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	492	406	574	503	444	510	510	510
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	30	78			10	10	10	
	(A) 事業費計	千円	522	484	574	503	444	520	520	520	
		(A)のうち指定経費	千円	90	38	86	53	75	128	128	128
		(A)のうち時間外、特勤	千円	90	38	86	53	75	128	128	128
	人件 費	正規職員従事人数	人	7	7	7	6	7	7	7	7
		延べ業務時間	時間	1,190	1,200	1,115	1,140	1,115	1,115	1,115	1,115
		(B)人件費計	千円	4,707	4,730	4,442	4,517	4,442	4,442	4,442	4,442
トータルコスト(A)+(B)		千円	5,229	5,214	5,016	5,020	4,886	4,962	4,962	4,962	

事務事業名	狂犬病予防事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度の後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 老犬や室内犬の飼い主が、予防接種が必要ないと考えているため。 今後、広報等で未注射犬の飼い主に、予防接種が必要であることを知らせていく。
	②2年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 定期的な周知や狂犬病予防注射未実施者については可能な限り通知文書の送付を行っていく。 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 狂犬病の恐ろしさを市民に警告することで予防注射の全頭実施に向け努力中。 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業なし
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 飼養犬が減少傾向にあることもあり、集団予防注射のやり方など見直すことも視野に入れていく。 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 野犬捕獲・予防注射時の職員は、委託可能であれば正職員以外でも可能。 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 狂犬病予防、畜犬関係から全市民に関係し公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 法律に基づき市が行う事業だが、狂犬病予防注射の実施等に関しては獣医師会の協力が必要不可欠である。

3 評価結果の総括（CHECK）

狂犬病予防注射通知事務、集合注射時の受付事務、注射済票交付、新規登録事務を行った。野犬捕獲、捕獲檻設置・撤去、迷い犬の受付・保護をした。予防注射実績2399頭、新規登録件数 384頭

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							